

案内

- トップページ
- 教授挨拶
- 教室紹介
- 診療内容
- 外来担当表
- セカンドオピニオン
- 研究課題
- 臨床試験
- 業績
- 研修・入局案内
- 関連病院紹介
- スタッフ紹介
- 教室日記
 - 2022年
 - 2021年
 - 2020年
 - 2019年
 - 2018年
 - 2017年
 - 2016年
 - 2015年
 - 2014年
 - 2013年
 - 2012年
 - 2011年
 - 2010年
 - 2009年
 - 2008年
 - 2007年
- オプアウト対象の臨床研究
- 寄付講座
- 同門会



胃がんとは MOVIE

外来化学療法 って何？

術後GISTの 化学療法

ASCO2013 ~Late Breaking Abstracts~

ASCO2015 ~special session : Global Oncology Symposium~

岐阜大学医学部

岐阜大学医学部附属 腫瘍

岐阜大学医学部附属 腫瘍がんセンター

岐阜大学医学部附属 腫瘍外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 病棟忘年会を行いました

病棟忘年会を行いました

投稿日：2013年12月26日 (木)

平成25年12月26日 (木) 外科病棟の忘年会を行いました

1次会：ホテルパーク 2次会：COA

開会のご挨拶

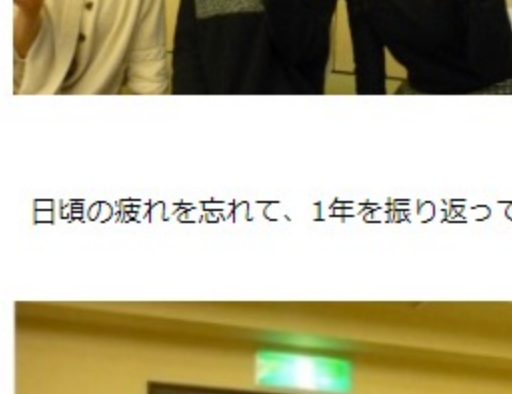


司会 八幡先生



開会のご挨拶 吉田教授

忘年会の様子



日頃の疲れを忘れて、1年を振り返って、たくさん飲みました！



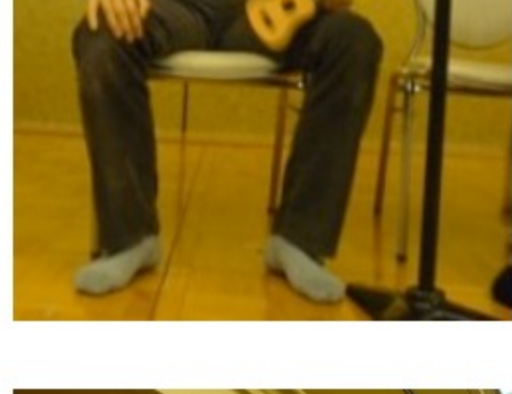
病棟、薬剤部、研修医の先生、外来、リハビリなど多くの方が参加してくれました！



恒例の芸大会



☆看護師さんによる可愛いダンスに皆が釘づけでした☆

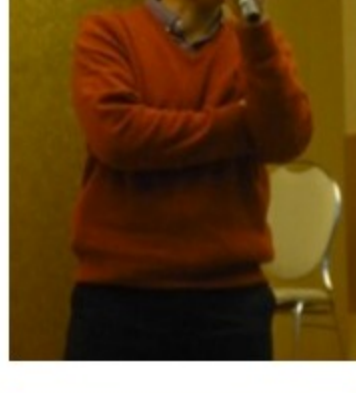
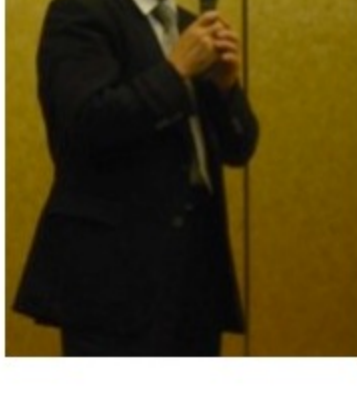
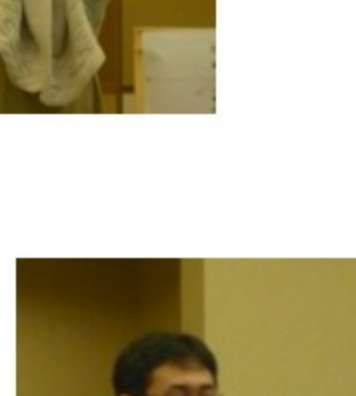


先生たちも体を張って!? 頑張りました！

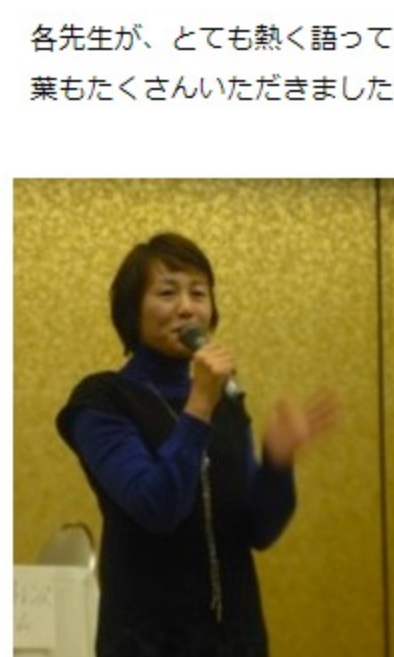


各チーム1年を振り返って・・・

食道・胃・大腸・肝胆膵・乳腺チームのチーフ・スタッフから、今年の反省と来年の目標についてお話しいただきました。



各先生が、とても熱く語っていたのが印象的でした。各部署のスタッフへ労いのお言葉もたくさんいただきました。



病棟の深尾師長から1年を振り返ってお話をいただきました。



1年間お疲れ様でした。来年もよろしくお願ひします！！



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- ▶ 岐阜大学医学部
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 中日新聞に吉田教授の記事が掲載されました

中日新聞に吉田教授の記事が掲載されました

投稿日：2013年12月17日（火）

2013年12月17日の中日新聞に吉田教授の記事が掲載されました。



▲ページの先頭へ戻る

▼ **ご案内**

▶ [トップページ](#)

▶ [教授挨拶](#)

▶ [教室紹介](#)

▶ [診療内容](#)

▶ [外来担当表](#)

▶ [セカンドオピニオン](#)

▶ [研究課題](#)

▶ [臨床試験](#)

▶ [業績](#)

▶ [研修・入局案内](#)

▶ [関連病院紹介](#)

▶ [スタッフ紹介](#)

▶ **教室日記**

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

2010年

2009年

2008年

2007年

▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)


▶ [寄付講座](#)


▶ [同門会](#)



 [岐阜大学医学部](#)

 [岐阜大学医学部附属病院](#)

 [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)

 [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

[トップページ](#) > [教室日記](#) > [外科疾患治療セミナーを行いました](#)

外科疾患治療セミナーを行いました

投稿日：2013年12月13日（金）

日時 平成25年12月13日（金）

18:30～20:00

場所 岐阜大学医学部「大会議室」

司会：岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学 教授 吉田 和弘



吉田 和弘 教授

一般講演

1. 『長良医療センターにおける小児外科の現況』

独立行政法人国立病院機構長良医療センター 小児外科
部長 安田 邦彦 先生



安田 邦彦 先生

2. 『進行再発大腸癌において経口剤を考慮した治療戦略』

岐阜大学医学部附属病院 腫瘍外科学
講師 高橋 孝夫 先生



高橋 孝夫 先生

特別講演

『QOLを重視した小児外科医療』

京都府立医科大学大学院 小児外科学
教授 田尻 達郎 先生



田尻 達郎 先生



▼ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 第3回 Translational Research Conference を開催しました

第3回 Translational Research Conference を開催しました

投稿日：2013年12月9日（月）

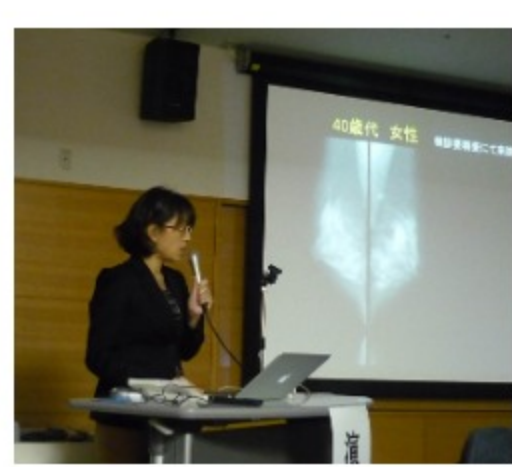
— Basic research から Clinical practice への応用に向けて —

日時 2013年12月9日（月）18:50～21:00
 場所 岐阜大学医学部 1階「大会議室」

総合司会
 岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学分野
 教授 吉田 和弘 先生

指定演題（19:00～19:30）

1. 『乳癌診療における超音波融合画像の現状と今後の展望』
 岐阜大学大学院医学系研究科 乳腺・分子腫瘍学講座
 助教 森光 華澄 先生



森光 華澄 先生

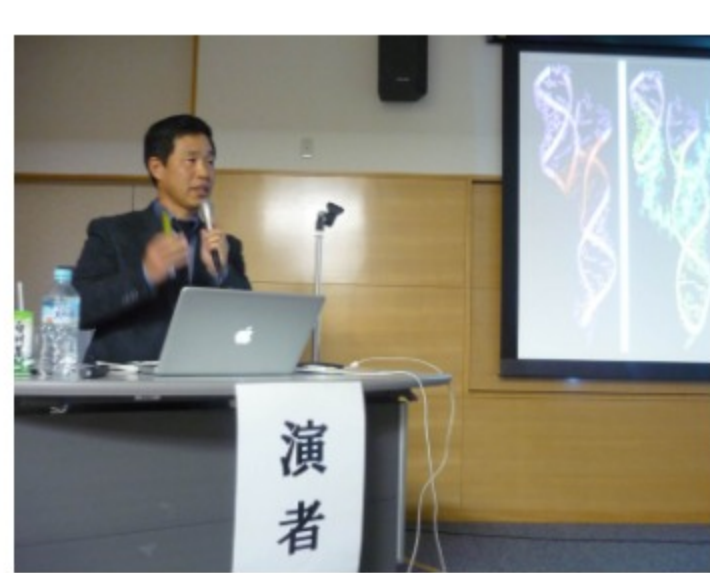
2. 『岐阜大学腫瘍外科における乳癌診療とTranslational Research への取り組みについて』
 岐阜大学大学院医学系研究科 乳腺・分子腫瘍学講座
 准教授 二村 学 先生



二村 学 先生

特別講演（19:30～20:30）

『MicroRNAの発癌への関与と創薬への展開』
 岐阜大学大学院 連合創薬医療情報研究科
 教授 赤尾 幸博 先生



赤尾 幸博 教授

ご案内

- トップページ
- 教授挨拶
- 教室紹介
- 診療内容
- 外来担当表
- セカンドオピニオン
- 研究課題
- 臨床試験
- 業績
- 研修・入局案内
- 関連病院紹介
- スタッフ紹介
- 教室日記
- 2022年
- 2021年
- 2020年
- 2019年
- 2018年
- 2017年
- 2016年
- 2015年
- 2014年
- 2013年
- 2012年
- 2011年
- 2010年
- 2009年
- 2008年
- 2007年
- オプトアウト対象の臨床研究
- 寄付講座
- 同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 平成25年度 岐阜大学第二外科 同門会・忘年会

平成25年度 岐阜大学第二外科 同門会・忘年会

投稿日：2013年12月 7日 (土)

期日：平成25年12月7日 (土)
場所：岐阜グランドホテル

同門会 プログラム

- 1) 同門会長 田中千凱先生 ご挨拶
- 2) 同門会報告

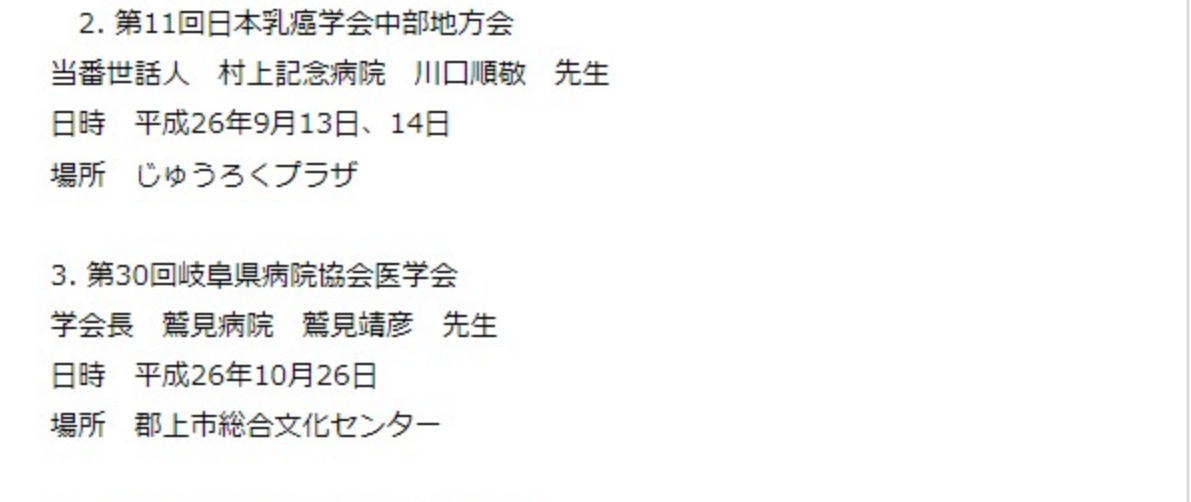
平成25年度異動報告・平成25年12月における勤務医一覧・新入局員
同門会会計報告・互助会会計報告
同門会理事交代
同門会誌「辛夷」第29号・吉田教授就任5周年記念集発刊報告



3) 還暦祝の贈呈

園枝克行 先生
国井康彦 先生
杉山保幸 先生
鷹尾博司 先生
森田敏弘 先生

(昭和28年12月2日～昭和29年12月7日)



3) 学会開催のお知らせ

1. 第120回日本消化器病学会東海支部例会
会長 岐阜大学腫瘍外科 教授 吉田和弘 先生
日時 平成26年9月14日
場所 長良川国際会議場
2. 第11回日本乳癌学会中部地方会
当番世話人 村上記念病院 川口順敬 先生
日時 平成26年6月13日、14日
場所 じゅうろくプラザ
3. 第30回岐阜県病院協会医学会
学会長 鷺見病院 鷺見靖彦 先生
日時 平成26年10月26日
場所 郡上市総合文化センター
4. 第39回日本死の臨床研究会年次大会
大会長 岐北厚生病院 西村幸祐 先生
日時 平成27年10月11日、12日
場所 長良川国際会議場、岐阜都ホテル
5. 第31回岐阜県病院協会医学会
学会長 市立恵那病院 浅野雅嘉 先生
日時 平成27年

4) 学位審査報告

太和田昌宏 先生
"Human gastric cancer organizes neighboring lymphatic vessels via recruitment of bone marrow-derived lymphatic endothelial progenitor cells."

森 龍太郎 先生
「5FUとオキサリプラチンの胃癌細胞に対する相乗効果におけるFANCJの役割」

棚橋利行 先生
"Extracellular signal-regulated kinase and Akt activation play a critical role in the process of hepatocyte growth factor-induced epithelial-mesenchymal transition."

佐々木義之 先生
"Determining timing of hepatectomy for colorectal cancer with distant metastasis according to imaging-based tumor shrinkage ratio."



5) 関連施設から現況と今後

総合大徳会病院外科 野中健一 先生
市立恵那病院外科 北村文近 先生



6) 大学・関連施設の現況と今後

岐阜大学病院第2外科 吉田和弘 教授



6) 忘年会の様子

場所：岐阜グランドホテル 宴会場にて



ご挨拶いただいた先生方



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- ▶ 岐阜大学医学部
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 第221回岐阜外科集談会・特別講演会を行いました

第221回岐阜外科集談会・特別講演会を行いました

投稿日：2013年11月16日（土）

日時：平成25年11月16日（土） 14時30分～17時50分
場所：岐阜大学医学部記念会館

【プログラム】

第221回 岐阜外科集談会
日本臨床外科学会岐阜支部会 特別講演会
岐阜県医師会 外科医部会

日時：平成25年11月16日(土) 14時30分～17時50分
場所：岐阜大学医学部記念会館
会費：500円（今回より参加費を頂きます。）

情報提供（14：30～14：45）
プロトンポンプ・インヒビター ネキシウムの適正使用について 第一三共株式会社

一般演題（14：45～15：20） 座長：岐阜大学 腫瘍外科 兼松昌子

- 1「蛋白漏出性胃腸症を合併した胃癌の1例」
岐阜厚生病院 外科
○加藤千佳、石原和浩、高橋治南、田中秀典、山本 悟
- 2「Adachi V型の血管走行異常を伴った胃癌の1例」
西美濃厚生病院 外科
○二村直樹、荒川信一郎、岡田将典、飯田辰英
- 3「多発性胃カルチノイドに早期胃癌の併発した1例」
大垣徳洲会病院 外科¹⁾、消化器内科²⁾、下川病理研究所³⁾
○天綱 望¹⁾、河嶋 廣¹⁾、小下裕夫¹⁾、種村廣巳¹⁾、鈴木雅雄²⁾、下川邦泰³⁾
- 4「術前診断可能であった魚骨虫歯穿孔の2例」
高山赤十字病院 外科
○田尻下敏弘、徳丸剛久、藤山芳樹、沖 一匡、井川愛子、佐野 文、白子隆志
- 5「枕創による直腸・膀胱穿孔の1例」
岐阜県立多治見病院 外科
○山中雅也、梶川真樹、百々呂紀、多代 光、菊田哲暢、水野 亮、小西 滋
出口智宙、原田明生
- (15：20～15：55) 座長：下呂温泉病院 外科 棚橋俊介
- 6「救急外来で診た後天性血友病の1例」
下呂市立金山病院 外科
○今井健晴、須原貴志、古田智彦
- 7「胸壁MALTリンパ腫の1例」
岐阜赤十字病院 外科¹⁾、岐阜大学 高度先進外科²⁾
○松本光善¹⁾、高橋 啓¹⁾、小久保健太郎¹⁾、橋井航也¹⁾、林 昌俊¹⁾
岩田 尚²⁾、白橋幸洋²⁾
- 8「異時性多発大腸癌に合併した悪性中皮腫の1例」
朝日大学歯学部附属村上記念病院 外科
○高橋有和、中嶋早苗、森 章、榎野 泉、秦浩一郎、川部 篤、久米 真
- 9「喫煙性イレウスに合併した上行結腸癌内血腫の1例」
岐阜市民病院 外科
○加藤大貴、高野 仁、加納寛志、安福 至、松井 聡、松井康司、足立尊仁、西科輝雄、渡頭祥明、山田 誠、杉山保幸
- 10「腹腔鏡下に切除した後腹膜リンパ管腫の1例」
郡上市民病院 外科
○川村結三、中嶋慎治、島本 滋、片桐義文
- (15：55～16：37) 座長：岐阜大学 腫瘍外科 市川賢吾
- 11「GISTによる小腸重積の1例」
大垣市民病院 外科
○石井元規、磯谷正敏、原田 徹、金岡祐次、亀井桂太郎、前田敦行、高山祐一、山口淳平
- 12「経過中に腸重積を来したS状結腸神経鞘腫の1例」
岐阜県総合医療センター 外科 病理センター¹⁾
○松本圭太、田中秀治、浅井竜一、徳丸剛久、前田健一、森龍太郎、太和田昌宏、木山 茂、種田靖久、仁田豊生、長尾成敏、加藤禎洋、河合雅彦、國枝克行、柳田恵理子¹⁾、岩田 仁¹⁾
- 13「胆嚢結核菌に対し腹腔鏡下切除術を施行した2例」
松波総合病院 外科
○佐藤裕央、小林建司、花立史香、柴田直央、川原敏晴、大原水子、小西奈々英、清水幸盛、松波英寿
- 14「腹腔鏡顕微視を伴った肝内胆管癌の1切除例」
木沢記念病院 外科
○池庄司浩臣、尾関 豊、柳田亮輔、山本淳史、伊藤由裕、坂下文夫、佐治重豊、今井直基
- 15「後腹膜に発生したganglioneuroblastomaの1例」
岐阜大学 高度先進外科
○山本裕崇、水野吉雄、白橋幸洋、岩田 尚、竹村博文
- 16「多発性肝巨大血管腫の1例」
岐阜大学 腫瘍外科
○久野真史、佐々木義之、八幡和憲、棚橋利行、市川賢吾、森光華澄、今井 寿、名和正人、田中寛宏、松橋延壽、奥村直樹、野中健一、高橋孝夫、山口和也、長田真二、二村 学、吉田和弘

— 休憩 —

特別講演（16：50～17：50）
座長 岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍外科学分野 教授 吉田 和弘 先生

『 外科医の教育体制の取り組み／肝がんの外科治療 』
京都大学医学部附属病院 肝胆脾・移植外科 教授 上本 伸二 先生

○口演時間は、5分程度で、質疑応答は、2分程度です。
○演者の先生は時間厳守でお願い致します。
○プロジェクターは1台用意致しております。パソコンでの発表はWindowsでお願い致します。
○ご発表の順序は事前に第一三共興の担当のMRにお渡し下さい。

日本医師会生涯教育制度対象講座申請中です。

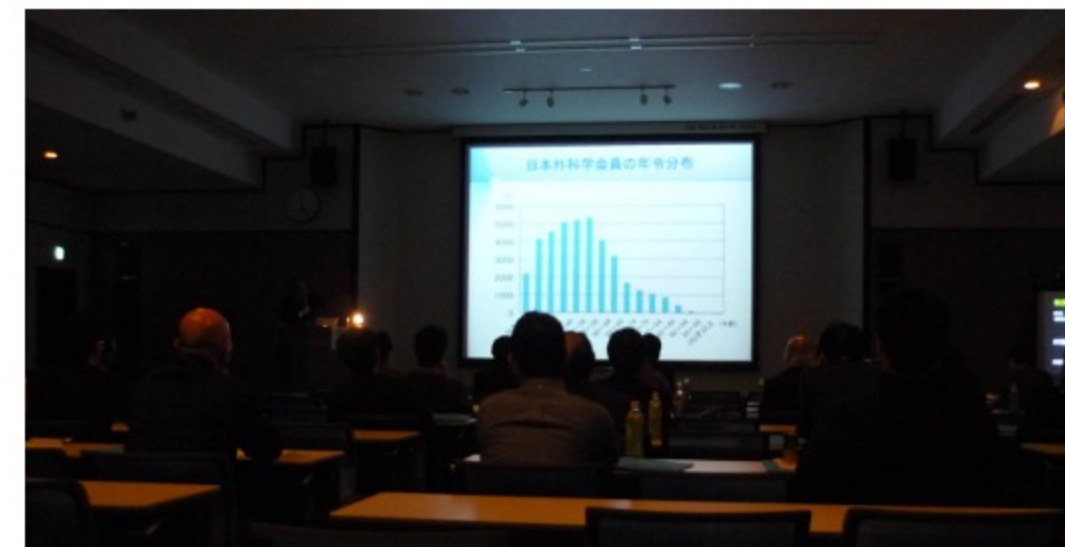
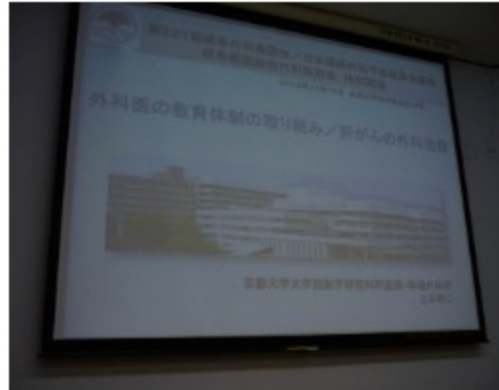
当 番 岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科
共 催 岐阜外科集談会
第一三共株式会社



【特別講演】
座長 岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍外科学分野
教授 吉田 和弘 先生



外科医の教育体制の取り組み／肝がんの外科治療
京都大学医学部附属病院 肝胆脾・移植外科
教授 上本 伸二 先生



- ◎ **ご案内**
- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [アウトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

トップページ > 教室日記 > 岐阜大学フェア 2013に参加しました

岐阜大学フェア 2013に参加しました

投稿日：2013年11月 1日 (金)



岐阜大学フェア 2013に参加して 平成8年卒 松橋延壽

2013年11月1日から2日と岐阜大学第2食堂で岐阜大学フェア 2013に参加する機会を与えて頂いた。はじめて参加したが、企業の方多く参加しており非常に盛況なフェアであった。今回発表したパネルは【手侵襲外科とadjuvant Surgery】であり、現在当科吉田和弘教授が推進している治療を紹介した。



正面玄関会場



【手術侵襲とAdjuvant Surgery】



盛況な会場内



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



同門会発行
辛夷



胃がんとは
MOVIE



外来化学療法
って何?



術後GISTの
化学療法



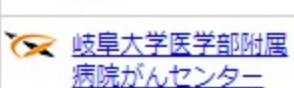
ASCO2013
~Late Breaking Abstracts~



ASCO2015
—special session :
Global Oncology Symposium—



岐阜大学医学部



岐阜大学医学部附属
病院



岐阜大学医学部附属
病院がんセンター



岐阜大学医学部附属
病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > GSU Seminarを開催しました

GSU Seminarを開催しました

投稿日：2013年10月26日 (土)

GSU Seminar ~Gifu university Skill Up Seminar~

外科手術において安全に精度を高める為に

Day1 2013年10月26日 17:00-20:00
神戸ANAクラウンプラザホテル 9F ジャスミン

症例検討会

Day2 2013年10月27日 8:30-17:00
神戸医療機器開発センター 神戸MEDDEC

生体(動物)を用いた手術



主催 岐阜大学大学院腫瘍制御学講座
腫瘍外科(消化器外科・乳腺外科)
Department of Surgical Oncology

コース責任者
岐阜大学腫瘍外科 教授 吉田和弘

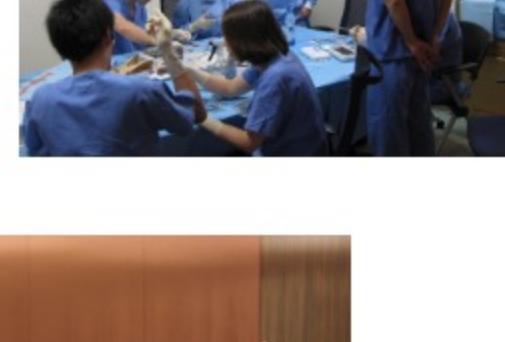
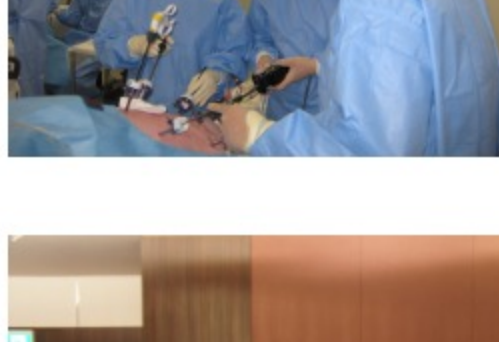
コースコーディネーター
岐阜大学腫瘍外科 准教授 山口和也
岐阜大学腫瘍外科 助教 奥村直樹

プログラム

- 症例検討会**
17:00 開会の言葉
岐阜大学腫瘍外科 教授 吉田和弘先生
17:15 症例提示① リンパ節郭清について
岐阜大学腫瘍外科 山口和也先生
18:00 症例提示② 再建について
岐阜大学腫瘍外科 奥村直樹先生
18:45 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 NEXT HANDS紹介
19:15 症例提示③ ビデオクリニック
岐阜県総合医療センター 太和田昌宏先生
20:00 閉会と明日の連絡
岐阜大学腫瘍外科 奥村直樹先生
20:10 情報交流会 神戸ANAクラウンプラザホテル内



- GSU Seminar**
08:30 開会の言葉
岐阜大学腫瘍外科 教授 吉田和弘先生
08:35 動物実習について
岐阜大学腫瘍外科 助教 奥村直樹先生
09:00 午前の部 実習
12:30 昼食 メーカー説明会
13:00 午後の部 実習
16:30 実習終了
16:45 総括
岐阜大学腫瘍外科 教授 吉田和弘先生



皆さまお疲れ様でした！！

参加者内訳 講師7名、受講者30名(うち研修医3名)

ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- ▶ 岐阜大学医学部
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 県民公開講座に参加しました

県民公開講座に参加しました

投稿日：2013年10月12日（土）

平成25年度 県民公開講座 がんを知り、がんと向き合う



講師 高辻 禎彦 氏 【胃がん患者・ミュージシャン】
テーマ 「がんが、教えてくれた大切なもの」
日時 平成25年10月12日（土） 午後1時～3時15分
場所 岐阜大学医学部記念会館2階ホール

プログラム

13:00 開会挨拶 吉田和弘先生（岐阜大学医学部附属病院 副病院長・がんセンター一長）

13:10 講演 高辻禎彦氏（胃がん患者・ミュージシャン）

14:20 最新治療紹介 奥村直樹先生（岐阜大学医学部附属病院 腫瘍外科）

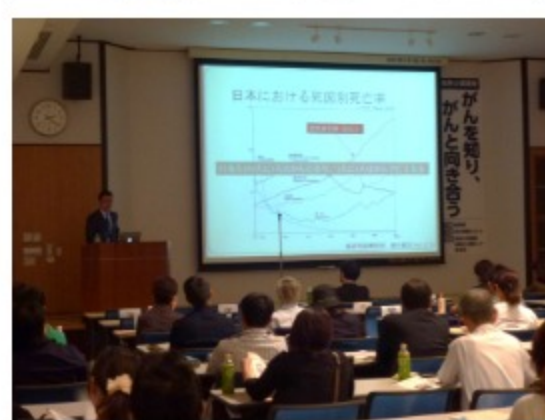
14:40 トークセッション

15:10 閉会挨拶 岐阜県保健医療課課長

15:15 閉会

主催：岐阜県 共催：岐阜大学病院がんセンター 後援：東海がんプロフェッショナル養成基盤推進プログラム、岐阜県がん情報センター/岐阜市

事務局：特定非営利活動法人 がんサポートセンター



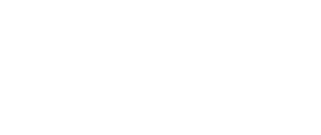
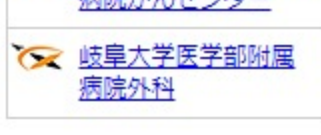
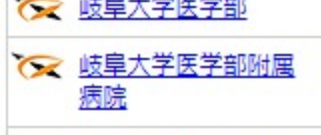
その後、岐阜大学附属病院敷地内で開催されたリレー・フォー・ライフ ジャパン 2013ぎふの開会式にも参加しました。



岐阜まで講演に来てくださった高辻さんはチェッカーズの元メンバーとして著名な方ですが、2002年に胃がん治療を受けられたのち、がん患者のために自分ができることとして全国で講演活動をおこなわれているとのことでした。胃がんの診断後手術を受けられ、術後の後遺症に悩み、そして自分の身近な人のがんによる死などの経験から、家族をキーワードに、とても心に染み入るご講演をいただきました。ありがとうございました。



- ご案内
- トップページ
- 教授挨拶
- 教室紹介
- 診療内容
- 外来担当表
- セカンドオピニオン
- 研究課題
- 臨床試験
- 業績
- 研修・入局案内
- 関連病院紹介
- スタッフ紹介
- 教室日記
- 2022年
- 2021年
- 2020年
- 2019年
- 2018年
- 2017年
- 2016年
- 2015年
- 2014年
- 2013年
- 2012年
- 2011年
- 2010年
- 2009年
- 2008年
- 2007年
- オプアウト対象の臨床研究
- 寄付講座
- 同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 第7回学生セミナーを開催しました

第7回学生セミナーを開催しました

投稿日：2013年10月11日 (金)

日時：平成25年10月11日 (金)
場所：岐阜大学医学部本館3階多目的室 (懇親会COA)
参加関連施設：木沢記念病院、犬山中央病院、揖斐厚生病院、岐阜県総合医療センター、岐阜市民病院、岐阜厚生病院、下呂市立金山病院、高山赤十字病院、長良医療センター



プログラム

開会の辞 高橋孝夫 先生
講演 「外科医の1週間」 岐阜大学腫瘍外科 久野真史 先生
特別講演 「消化器癌・乳癌の新しい外科手術について」
木沢記念病院外科 坂下文夫 先生
閉会の辞 高橋孝夫 先生



「消化器癌・乳癌の新しい外科手術について」 木沢記念病院外科 坂下先生

- 経歴①**
 - 平成元年3月 岐阜県立豊大高校卒業
 - 同 4月 福井医科大学(現福井大学医学部)入学 はじめから外科を志望
 - 平成7年4月 岐阜大学第2外科入局 (佐治重宣教授、同期は6人)
- 経歴②(研修医)**
 - 平成7年4月～ 岐阜大学第2外科(現:腫瘍外科)
 - 外科の基本(糸結び、術前プレゼン、術後管理など)
 - (1人)当直
 - 平成8年5月～ 岐阜総合病院(現:岐阜厚生病院)
 - 外科麻酔
 - アッペ、ヘルニアの執刀
 - 平成8年12月～ 岐阜市民病院
 - たさんへの手術を経験(消化器癌、緊急手術)

- 経歴③**
 - 平成9年5月～ 金山町国民健康保険病院 (現:下呂市立金山病院)
 - いろいろな疾患を受け持つ(脳外科、整形外科など)
 - 内視鏡、胃透視、注腸、エコー、訪問診療
 - 外科学会認定医取得、論文(症例報告)執筆
 - 平成13年4月～ 岐阜市民病院
 - たさんへの手術を経験(ラパコレ、ヘルニア)
 - 大手術(食道癌、胃癌(拡大手術)、肝切除、PD)の助手
 - 腹腔鏡手術は開腹(ラパコレ)でいい。
- 経歴④**
 - 平成15年4月～ 岐阜大学腫瘍総合外科 (その後腫瘍外科)
 - 胃癌、大腸癌etcの執刀をさせてもらう。
 - 大学病院移転。実験一学位取得。
 - 日本消化器外科学会専門医取得。
 - 吉田教授教授、上部消化管チームとして指導を受ける。
 - 日本内視鏡外科学会技術認定医取得。

da Vinciについて

ビジョンカート ベジエントカート サージョンコンソール

da Vinciの特徴

- 3D HD Vision**
 - 高解像度3D画像
 - 手ぶれ除去機能
 - デジタルズーム機能
 - 自分で操作できる
- Master controller**
 - 手ぶれ除去機能
 - 縮尺機能
 - ガイドツールチェンジ
- Endo-Wrist instrument**
 - 多関節機能
 - 強い把持力

当院のda Vinci導入について

- 2010年11月 木沢記念病院にda Vinci 導入
- 2011年 4月 前立腺全摘 1例目 (現在35例)
2012年12月 前立腺癌性腫瘍手術 41080点
保険適用 内視鏡手術用支援機器加算 54200点
- 2011年11月 食道切除 1例目 (現在1例)
- 2011年12月 直腸切除 1例目 (現在3例)
- 2012年 2月 肺切除 1例目 (現在2例)
- 2012年 2月 胃切除 1例目 (現在4例)
- 計 45例(2013年9月末まで)

乳癌手術の考え方の変遷

- 定型的乳房切除術(1890年代～)**
乳癌はリンパ管を介して浸潤、転移を起こすので、乳房と流出するリンパ管、そのリンパ節をen blocに切除すべきである。(Halsted理論)
- 胸筋温存乳房切除術、乳房温存術(1970年代～)**
乳癌は比較的早期の段階から微小転移が形成される。
- センチネルリンパ節生検(1990年代～)**
乳癌細胞が最初に入し、最初に転移を形成するリンパ節が存在する。これに転移がない場合はリンパ節摘除が省略できる。2010年4月に保険適用。

一次再建、二次再建とは

- 一次再建 (同時再建)**
 - 乳がんの手術と同時に 何らかの再建手術を行う方法
- 二次再建**
 - 乳がんの治療が一段落してから 再建手術を行う方法

「外科レジデントの生活」 岐阜大学腫瘍外科 久野先生

自己紹介
平成23年度の3年目、29歳
愛知県出身、中高男子校→岐阜大学
大学では・・・テニス課の生活

初期研修
岐阜県美濃市にある本澤記念病院と2年間の初期研修病院に選抜。
一般床4.5床 救急車年間3000台
地域中核病院 1学年研修医7～8人体制



どんな初期研修?

1年目	内科	外科	産科	小児科	皮膚科	泌尿科
	約20%	約20%	約20%	約20%	約20%	約20%

2年目	内科	外科	産科	小児科	皮膚科	泌尿科
	約20%	約20%	約20%	約20%	約20%	約20%

3年目の生活

今年の4月から岐阜大学腫瘍外科の医師として大学へ戻りました。
吉田教授の元各臓器別グループに配属され勉強させてもらっています。
4月～肝胆膵チーム
10月～下部消化管チーム

科	名	大	中	小	産	小	小
内科	オコノ	オコノ	オコノ	オコノ	オコノ	オコノ	オコノ
外科	オコノ	オコノ	オコノ	オコノ	オコノ	オコノ	オコノ
産科	高橋	高橋	高橋	高橋	高橋	高橋	高橋



開会・閉会の辞 高橋孝夫先生
司会 山田敦子先生

懇親会の様子

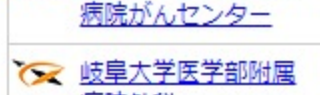
学生セミナー終了後は学生さんたちとの交流の場を設けており、卒後の進路、研修先の情報、外科研修について、お話しするよい機会となっています。進路決定の一助となれば幸いです。多くの学生さん、各施設の先生方にご参加いただきありがとうございました。



皆さま、お疲れ様でした。次回も多くのご参加願っています!



- ◎ [ご案内](#)
- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ [教室日記](#)
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



教室日記

トップページ > 教室日記 > ESCP 2013 ヨーロッパ大腸肛門病学会レポート

ESCP 2013 ヨーロッパ大腸肛門病学会レポート

投稿日：2013年9月25日（水）

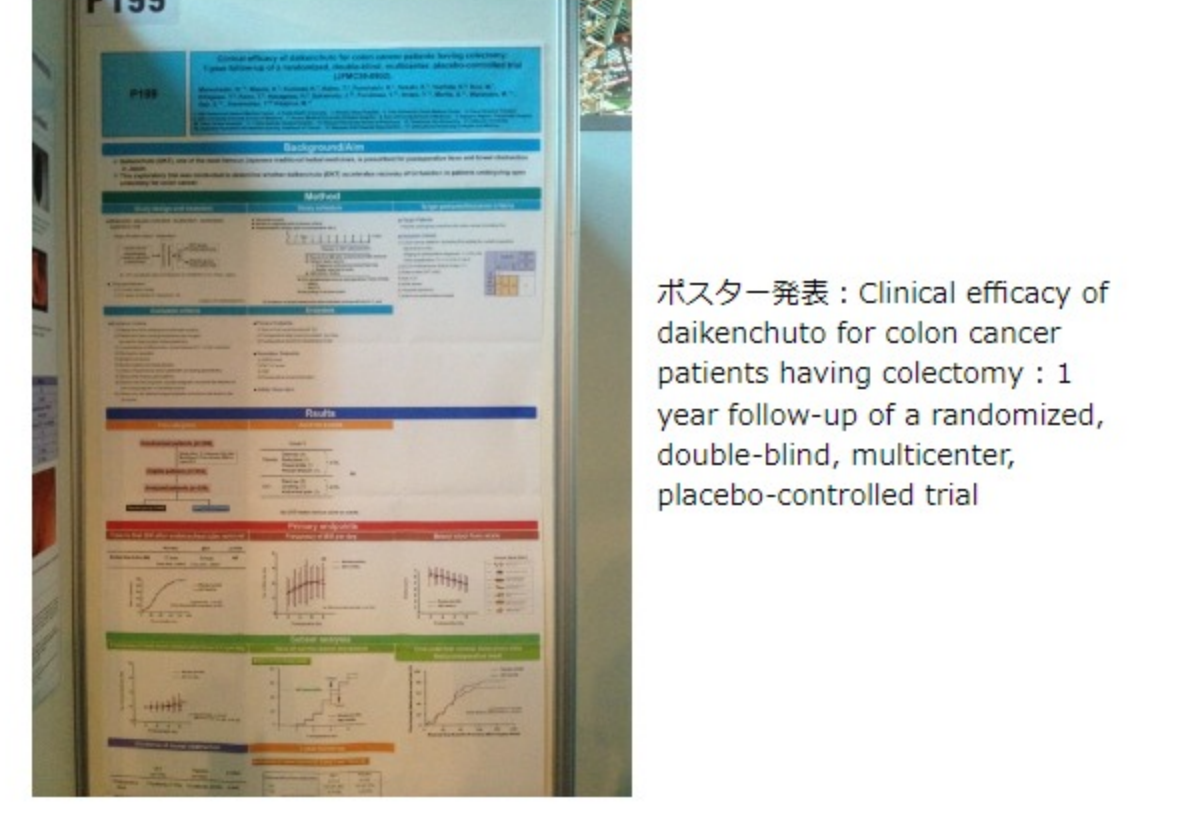
第8回ヨーロッパ大腸肛門病学会に参加して
岐阜大学 腫瘍外科
平成8年卒 松橋 延壽

2013年9月25日から27日まで第8回ヨーロッパ大腸肛門病学会（セルビア：ベオグラード）に参加した。今回の学会発表は、がん集学的治療研究財団における臨床試験で前赴任先（岐阜県総合医療センター）での分担責任医師であり、積極的に試験に参加したため（全国3位の登録数）海外発表の権利を頂き、がん集学的治療研究財団より推薦され発表の機会を頂いた。



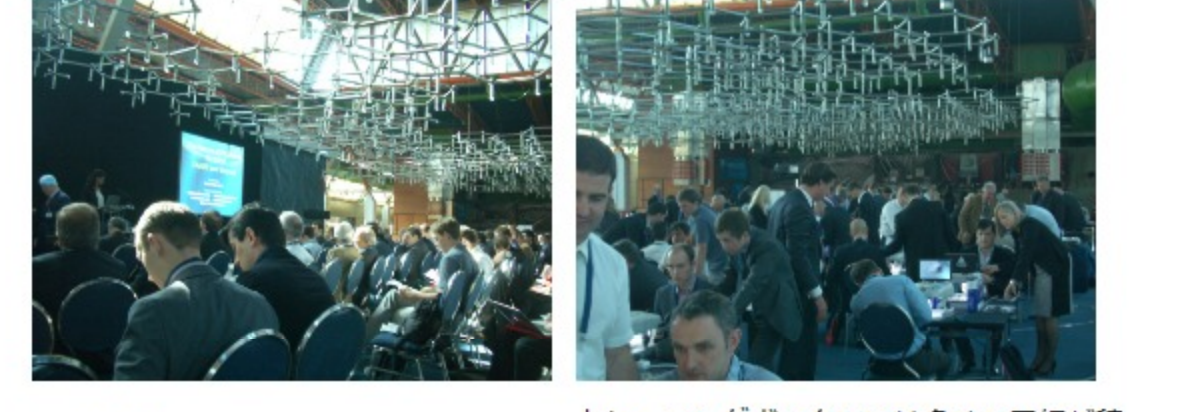
学会正面会場

発表内容は開腹大腸癌手術における大建中湯の有用性であり、Clinical efficacy of daikenchuto for colon cancer patients having colectomy: 1year follow-up of a randomized, double-blind, multicenter, placebo-controlled trialというタイトルで発表した。ポスター発表ではあったが、大建中湯はヨーロッパの医師においても非常に興味があるようで、大建中湯の成分、副作用について、治療の有用性など多くの質問を受けることがあった。また本試験の結果における質問も多々あり、今後の大建中湯など漢方薬の世界進出のきっかけになることを願った。



ポスター発表：Clinical efficacy of daikenchuto for colon cancer patients having colectomy : 1 year follow-up of a randomized, double-blind, multicenter, placebo-controlled trial

ヨーロッパ大腸肛門病学会は初めての参加であったが、ヨーロッパ各国の大腸専門の医師が非常にたくさん参加しており、非常に盛況な学会で驚いた。個人的には経肛門的直腸切除TAMISの教育講演、セッションなどへ十分に参加することができ、またトレーニングボックスにも参加することができたため非常に有用であった。今後NOTESへの移行において避けては通れない治療法であり、今後日本でもどのように展開されていくのか大変興味があり、何らかの形で関わりあえる機会にめぐり合えば、積極的に参加していきたい。



TAMIS会場

トレーニングボックスでは多くの医師が積極的に参加



リアルなトレーニングで、ゲーム感覚で腹腔鏡手術を体感できる

またセルビアという国にもはじめて入国したが、NATO空爆跡地、ホテルなどは会場からすぐのところであり、戦争の爪痕が生々しく残っており、改めの平和の大切も身に染みた。学会に参加して現在のヨーロッパにおける世界の流れなどがよく理解でき、日本では味わえない刺激があった。地道に努力し、自教室の症例をしっかりと蓄積し、客観的評価を行い、世間に公表する重要性を再確認した。またそこで自分たちの治療（成績）を見直し、よりよい治療を当教室から発信できるようすべきてあると思ひ、新たな活力が湧く機会を頂いたがん集学的治療財団に感謝の意を述べたい。



ベオグラードの街並み

NATO空爆跡地

▼ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 医局懇親会を行いました

医局懇親会を行いました

投稿日：2013年9月21日（土）

医局懇親会を平成25年9月21日にノブールおぶさにて行いました。吉田教授を囲んで、医局の先生方、大学院生、病棟看護師さん、そして英会話の先生とご家族と今年も多くの方々にご参加いただきました。



吉田教授を囲んで



金華山の夜景を見ながら美味しい炭火焼バーベキュー



全員で集合写真

皆さん、また来年もぜひご参加くださいね！

- ▼ **ご案内**
- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会


同門会発行
辛夷


胃がんとは
 MOVIE


外来化学療法
 って何？


術後GISTの
化学療法


ASCO2013
 ~Late Breaking Abstracts~


ASCO2015
 ~special session : Global Oncology Symposium~

-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

トップページ > 教室日記 > 送別会を行いました

送別会を行いました

投稿日：2013年9月19日 (木)

日時：平成25年9月19日 (木)

場所：馬喰一代 (長良)



腫瘍外科で大腸チームを支えてくださった野中 健一先生が、10月より大雄会病院外科へ赴任されることになりました。また臨床試験をCRCとして強くサポートしてくれた薬剤師の鈴木 成実先生も10月に転勤されることとなり、お二人の送別会を開きました。



新しい職場でのお二人のご活躍を医局員一同願っております。
今までありがとうございました。

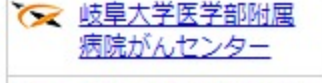
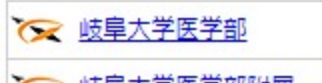


野中先生と同じ時期に大学院生だった今井先生は、苦労話もたくさんあり言い争いを何度かしたことをお話しされました。医局長の高橋先生は、大腸チームでの野中先生の功労を称えられました。



幹事の先生がた
お疲れ様でした！

▼ ご案内
▶ トップページ
▶ 教授挨拶
▶ 教室紹介
▶ 診療内容
▶ 外来担当表
▶ セカンドオピニオン
▶ 研究課題
▶ 臨床試験
▶ 業績
▶ 研修・入局案内
▶ 関連病院紹介
▶ スタッフ紹介
▶ 教室日記
▶ 2022年
▶ 2021年
▶ 2020年
▶ 2019年
▶ 2018年
▶ 2017年
▶ 2016年
▶ 2015年
▶ 2014年
▶ 2013年
▶ 2012年
▶ 2011年
▶ 2010年
▶ 2009年
▶ 2008年
▶ 2007年
▶ オプトアウト対象の臨床研究
▶ 寄付講座
▶ 同門会



▼ 教室日記

トップページ > 教室日記 > 第6回日本癌治療学会アップデート教育コース

第6回日本癌治療学会アップデート教育コース

投稿日：2013年6月30日（日）

日 時：平成25年6月30日（日）9：45～13：10
 会 場：ミッドランドホール（ミッドランドスクエアオフィスタワー5F）

【プログラム】
 開会の挨拶 9：45～9：50
 吉田 和弘（第6回アップデート教育コース実行委員長）

1. がんの薬物療法 総論 9：50～10：20
 司会：澤 祥幸 先生（岐阜市民病院呼吸器科・腫瘍内科）
 講師：三嶋 秀行 先生（愛知医科大学病院臨床腫瘍センター）
 2. がんの放射線療法 総論 10：20～10：50
 司会：古平 毅 先生（愛知がんセンター中央病院放射線科治療部）
 講師：芝本 雄太 先生（名古屋市立大学大学院医学系研究科放射線医学）
 3. がんの緩和医療と在宅連携 10：50～11：20
 司会：明智 龍男 先生（名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野）
 講師：山口 佳之 先生（川崎医科大学臨床腫瘍学）
- （休憩 11：20～11：35）
4. 胃がんの標準治療 11：35～12：05
 司会：吉田 和弘（岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍外科学）
 講師：小寺 泰弘 先生（名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学）
 5. 婦人科がんの標準治療 12：05～12：35
 司会：吉川 史隆 先生（名古屋大学大学院医学系研究科産婦人科学）
 講師：森重 健一郎 先生（岐阜大学大学院医学系研究科産科婦人科学）
 6. 乳がんの標準治療 12：35～13：05
 司会：大崎 昭彦 先生（埼玉医科大学国際医療センター乳腺腫瘍科）
 講師：岩田 広治 先生（愛知県がんセンター中央病院乳腺科）
- 閉会の挨拶 13：05～13：10
 吉田 和弘（第6回アップデート教育コース実行委員長）

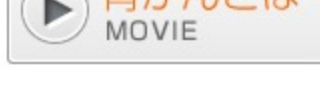


ご講演くださった先生がた、開催関係各位の皆さま、当科医局員・秘書の皆さん、ご協力ありがとうございました。



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属 病院
- 岐阜大学医学部附属 病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属 病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > IGCC 2013 国際胃癌学会レポート

IGCC 2013 国際胃癌学会レポート

投稿日：2013年6月19日 (水)



イタリア、ヴェローナで開催されたIGCC 2013 Verona (第10回国際胃癌学会)に、当科より吉田教授、奥村先生、八幡先生が参加しました。学会の様子や現地でのエピソードなど、奥村先生のレポートをお伝えします。

第10回国際胃癌学会に参加して

平成25年卒 奥村直樹

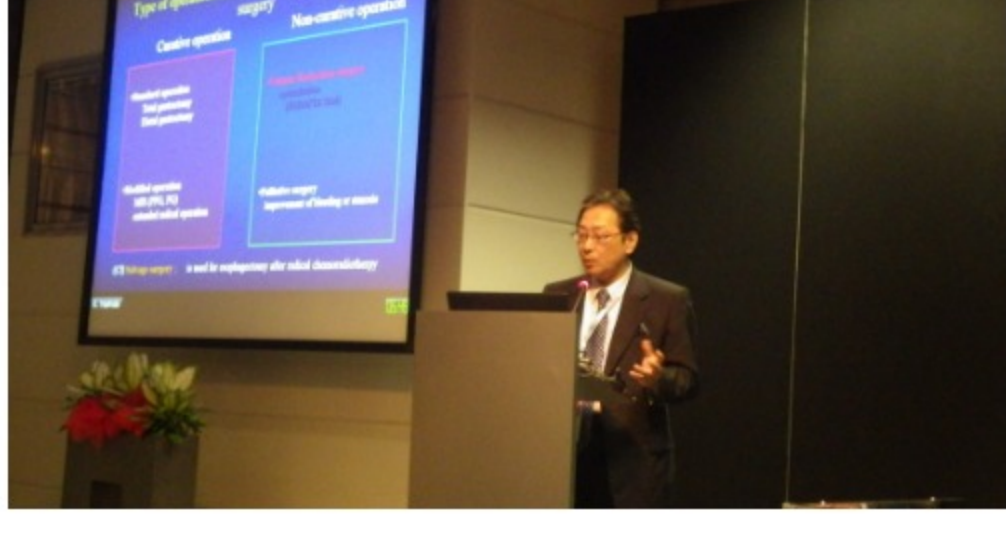
2013/6/19から6/22まで第10回国際胃癌学会(IGCC)がイタリアのヴェローナで開催されました。国際胃癌学会は2年に1回開催され、当科からは、吉田教授、八幡先生と私の3人が参加し7演題を発表しました。

Free paper
IS CONVERSION THERAPY POSSIBLE FOR STAGE IV GASTRIC CANCER
K. Yoshida (Gifu University), K. Yamaguchi, N. Okumura, K. Yawata, T. Takahashi, Y. Tanaka, K. Tanabe, T. Suzuki, H. Ohdan

Video (invited speaker)
Reconstruction after open total gastrectomy
K. Yoshida - JPN

Free video
STANDARD PROCEDURES FOR COMPLETE LAPAROSCOPIC DISTAL GASTRECTOMY - PITFALLS FOR D2 LYMPHADENECTOMY AND RECONSTRUCTION-
K. Yoshida (Gifu University), K. Yamaguchi, N. Okumura, N. Matsuhashi, K. Yawata, T. Takahashi, Y. Tanaka

Workshop (invited speaker)
S-1 (Teysuno) - based Chemotherapy in Gastric Cancer - Perspectives in Japan and Western countries -
S-1(TEYSUNO)-BASED CHEMOTHERAPY IN JAPAN
K. Yoshida - JPN



Poster Chairman
LYMPHADENECTOMY K. Yoshida

Case Conference Chairman
ONGOING TRIALS: INTERIM RESULTS K. Yoshida



Free paper
ONCOLOGIC OUTCOMES OF LAPAROSCOPIC GASTRECTOMY
N. Okumura (Gifu University School Of Medicine), N. Matsuhashi, K. Yawata, K. Yamaguchi, T. Takahashi, S. Osada, K. Yoshida

Free video
LAPAROSCOPIC PROXIMAL GASTRECTOMY FOR EARLY GASTRIC CANCER
N. Okumura (Gifu University School Of Medicine), N. Matsuhashi, K. Yawata, K. Yamaguchi, T. Takahashi, S. Osada, K. Yoshida

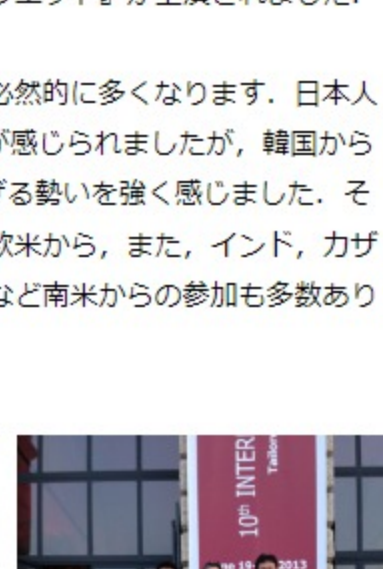
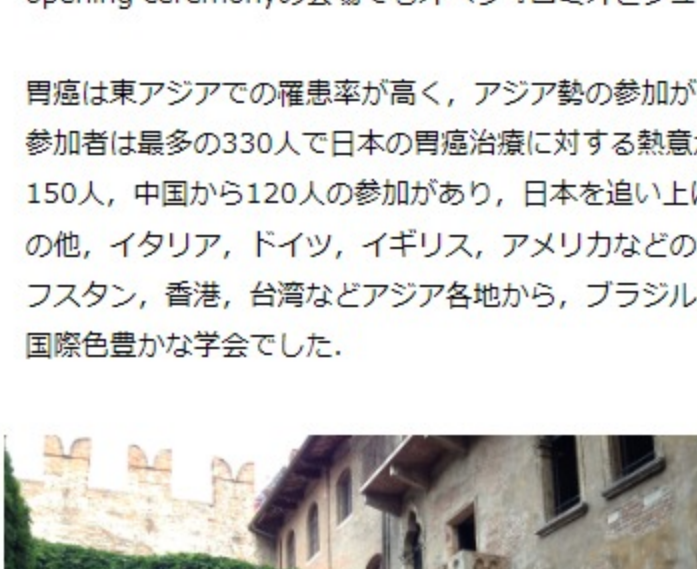


Poster presentation
NOVEL STRATEGY BY SYNERGISTIC EFFECT OF VANDETANIB WITH 5-FU FOR GASTRIC CANCER CELLS.
K. Yawata (Gifu University), S. Osada, K. Fukuta, M. Kanematsu, A. Yamada, J. Kato, Y. Tanaka, N. Okumura, N. Matsuhashi, K. Nonaka, T. Takahashi, K. Yamaguchi, M. Futamura, K. Yoshida



ヴェローナは初めて訪れましたが、ベニス、ミラノの中間に位置する人口25万人の北イタリアの閑静な街で『ロミオとジュリエット』の舞台として有名な観光地です。opening ceremonyの会場でもオペラ『ロミオとジュリエット』が上演されました。

胃癌は東アジアでの罹患率が高く、アジア勢の参加が必然的に多くなります。日本人参加者は最多の330人で日本の胃癌治療に対する熱意が感じられましたが、韓国から150人、中国から120人の参加があり、日本を追い上げる勢いを強く感じました。その他、イタリア、ドイツ、イギリス、アメリカなどの欧米から、また、インド、カザフスタン、香港などアジア各地から、ブラジルなど南米からの参加も多数あり国際色豊かな学会でした。

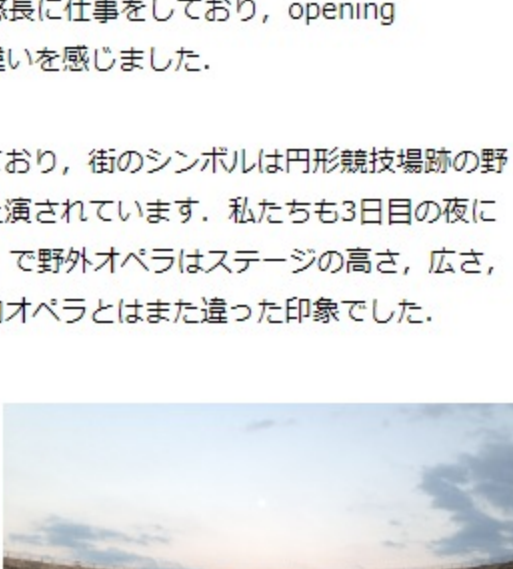
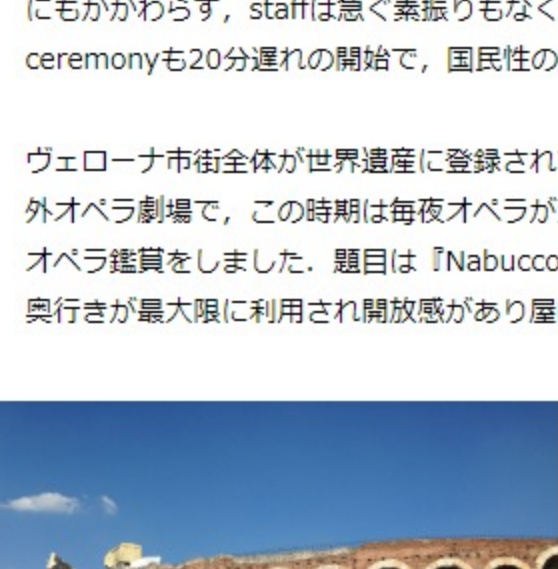


Casa di Julietta

会場前で吉田教授と

学会運営はいかにイタリアらしく、受付窓口やスライドのregistrationが長蛇の列にもかかわらず、staffは急ぐ素振りもなく悠長に仕事をしており、opening ceremonyも20分遅れの開始で、国民性の違いを感じました。

ヴェローナ市街全体が世界遺産に登録されており、街のシンボルは円形競技場跡の野外オペラ劇場で、この時期は毎夜オペラが上演されています。私たちも3日目の夜にオペラ鑑賞をしました。題目は『Nabucco』で野外オペラはステージの高さ、奥行きが最大限に利用され開放感があり屋内オペラとはまた違った印象でした。

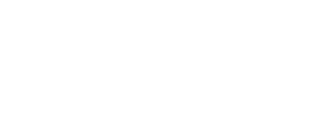
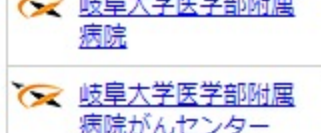


Arena di Verona

屋外オペラ劇場で山田先生と

湿度は高く日中は30度を超え非常に暑かったですが、レストランの屋外テーブルでヨーロッパの風情漂う景観でのピザとワインは格別でした。4泊6日と短い期間でしたが多くの知人、友人と会う事が出来本当に有意義な時間でした。また、この様な機会を与えていただきありがとうございます。

- ◎ ご案内
- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会

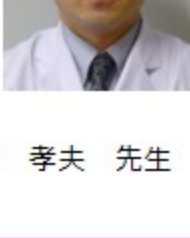
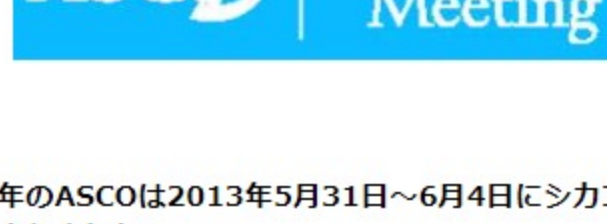


教室日記

トップページ > 教室日記 > ASCO 2013 米国臨床腫瘍学会レポート

ASCO 2013 米国臨床腫瘍学会レポート

投稿日：2013年6月4日 (火)



高橋 孝夫 先生

今年のASCOは2013年5月31日～6月4日にシカゴにて開催されました。当教室からは"胃癌の術後補助化学療法に関するSAMIT試験"について吉田教授のご発表がありました。その様子について、ASCOへは3回目の参加となられる高橋先生がレポートします。

ASCO 2013 Best of ASCO

今年のASCOも例年通りシカゴにて、2013年5月31日～6月4日まで開催された。シカゴも日本同様大変暑かったが、雨が降り小寒い日もあった。今回のASCOでは当科の教授、吉田和弘先生ご発表の"胃癌の術後補助化学療法に関するSAMIT試験結果"がLate breaking AbstractsにAcceptされ、ASCOのoralでpresentationすることもあり、小生はボスの晴れ舞台を見にきたのである。もちろんそれだけではなく、小生が共同演者にさせて頂いていた臨床試験の発表を拝聴することや、今回のASCOのトピックスの座談会に招かれていた。ASCO本会議は3回目であり、例年通り多数の興味深い臨床試験結果がオープンとなり大変勉強になったが、やはりボスの立派なpresentationが盛大に行われ、感慨深い特別なASCOであった。

5月31日現地入りし、いろいろな仕事や学会の聴講とあわせて先週まで来ていたが、6月3日が無事終わるまで小生もなんとなく落ち着かなかった。いよいよ発表の6月3日を迎えた。午前に発表である。快晴で大変晴れやかな良い天気であった。

"A Phase III Randomized Clinical Trial of Adjuvant Paclitaxel Followed by Oral Fluorinated Pyrimidines for Locally Advanced Gastric Cancer -SAMIT Study-" 局所進行胃癌術後補助化学療法におけるPaclitaxel→経口フッ化ピリミジン製剤逐次投与療法の有効性評価III相臨床試験：SAMIT試験
 この演題はBest of ASCOに選ばれ、我々岐阜大学腫瘍外科の医局員にとってもたいへん名誉なことである。



口演が始まる前の様子；日本から先生方が大勢応援に駆け付けていただいた。

会場Hall D1前の様子；この向こうに6スクリーンを有する大会場がある。



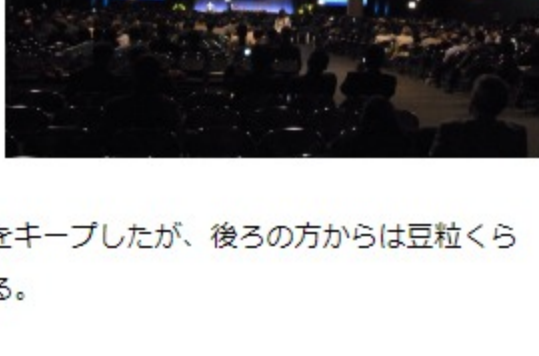
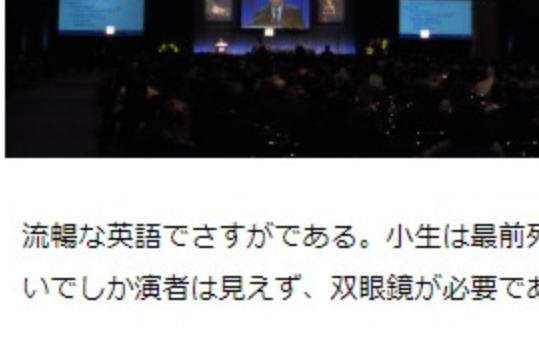
発表のアナウンス；2013年6月3日(月)9:45AM-12:45PMのセッション Gastrointestinal (Noncolorectal) Cancer 3番目 Late Breaking Abstracts? #LBA4002



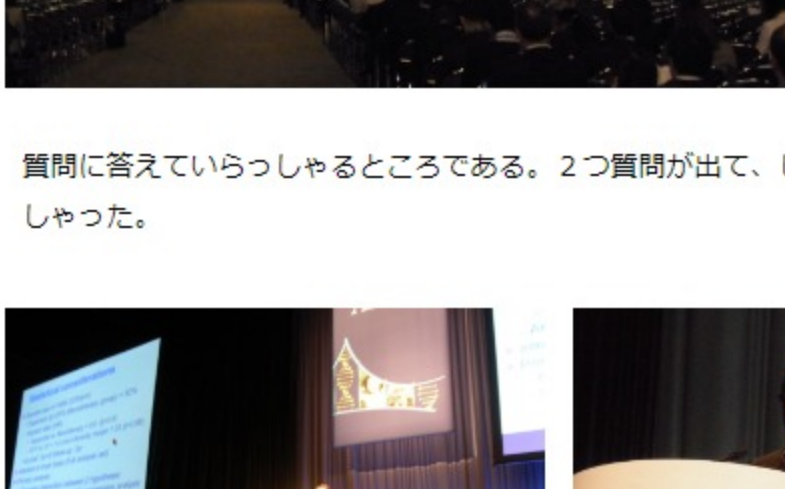
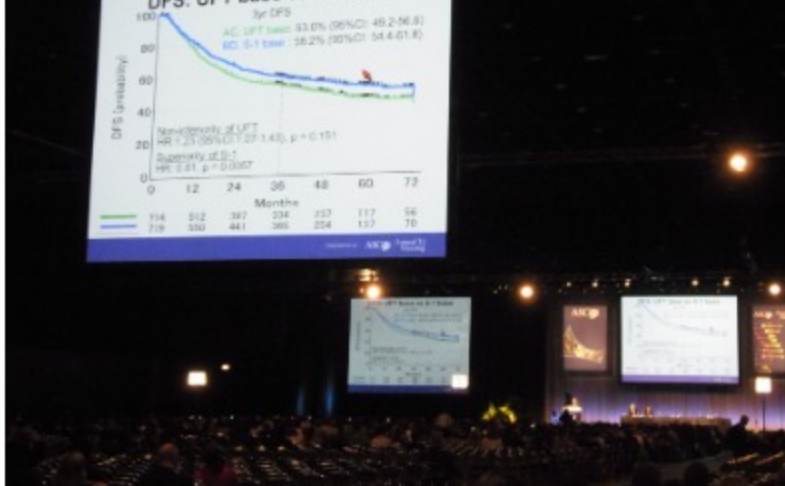
いよいよ吉田教授の口演が始まります。6個の巨大スクリーンで映し出され、大変多くの聴衆があり、おそらく数千近いのではないかと推察される。このように大きな会場であった。



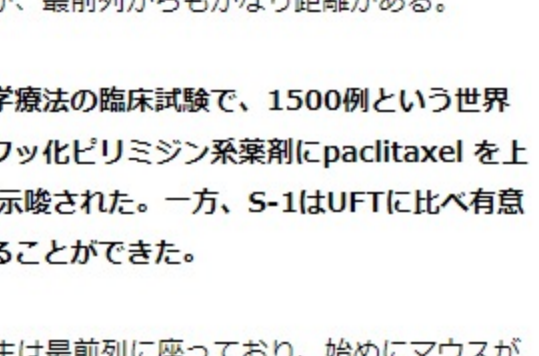
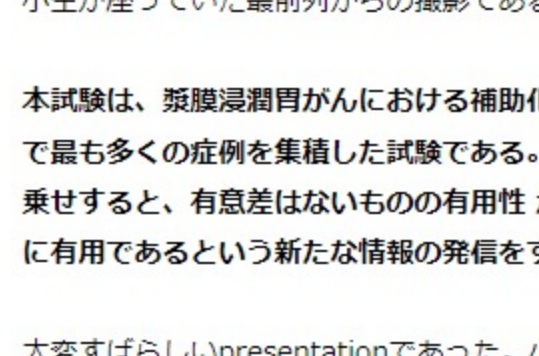
はじめにマウスが動かないというハプニングが生じたが、動揺されることなく、落ち着いて対応され、発表が始まった。



流暢な英語でさすがである。小生は最前列をキープしたが、後ろの方からは豆粒くらいでしか演者は見えず、双眼鏡が必要である。



質問に答えていらっしゃる様子である。2つ質問が出て、しっかりと答えていらした。



小生が座っていた最前列からの撮影であるが、最前列からもかなり距離がある。

本試験は、漿膜浸潤胃癌における補助化学療法の臨床試験で、1500例という世界で最も多くの症例を集積した試験である。フッ化ピリミジン系薬剤にpaclitaxelを上乗せすると、有意差はないものの有用性が示唆された。一方、S-1はUFTに比べ有意に有用であるという新たな情報の発信をすることができた。

大変素晴らしいpresentationであった。小生は最前列に座っており、始めにマウスが動かずスライドがめくれないというハプニングがあったが、自分のことのようにどうしようもなかったが、それは小生のみで、当のご本人は落ち着いて対応され、さすがであった。発表が終わった後は拍手が起こった。



会場シカゴ・マコーミックプレイスにて；学会場は大変広い。発表後会場のメインストリートで撮影。



吉田教授の大盛況な口演が終わった後、学会場前にて；SAMIT試験のPIであられます円谷先生と。



左より円谷先生、坂田先生、吉田教授、小生。



6/3夜にEAGLE試験の打ち上げで食事後、日本の著名な先生方と一緒に。

ASCO2013でよく勉強した。さあ、これを糧にして、これからの診療に活かして頑張るぞ。たくさん元気をいただいて、日本に帰国した。

文責：高橋孝夫

◎ **ご案内**

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 第220回岐阜外科集談会・特別講演会を行いました

第220回岐阜外科集談会・特別講演会を行いました

投稿日：2013年5月25日 (土)

第220回 岐阜外科集談会・日本臨床外科学会岐阜支部会・岐阜県医師会外科医部会 特別講演会を行いました。

日時：平成25年5月25日 (土) 14:30 - 17:40
 場所：岐阜大学医学部記念会館

【プログラム】

第220回 岐阜外科集談会 特別講演会 日本臨床外科学会岐阜支部会 岐阜県医師会外科医部会

日時：平成25年5月25日(土) 14時30分～17時40分
 場所：岐阜大学医学部記念会館

情報提供 (14:30～14:45)
 ヒト型抗 RANKLモノクローナル抗体製剤 ランマークの適正使用について
 第一三共株式会社

一般演題 (14:45～15:20) 座長：岐阜大学 腫瘍外科 福田賢也

- 1 「大網出血による腹腔内出血の1例」
 岐阜県総合医療センター 外科、病理センター¹⁾
 ○篠田千佳、長尾成敏、田中秀治、岩田至紀、加藤千佳、浅井竜一、徳丸剛久、前田健一、森龍太郎、太和田昌宏、木山 茂、種田晴久、田中千弘、長尾育子、安村幹央、加藤祐洋、河合雅彦、園枝克行、岩田 仁¹⁾
- 2 「虫垂が嵌頓した右鼠径ヘルニア (Amyand's hernia) の一例」
 摂生厚生病院 外科
 ○操 佑樹、土屋十次、立花 進、熊澤伊和生、西尾公利、小森光嗣
- 3 「特発性頸椎硬膜外血腫の1例」
 下呂市立金山病院 外科
 ○今井健晴、須原貞志、古田智彦
- 4 「胃癌術後にヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) を発症した1例」
 高山赤十字病院 外科
 ○藤山芳樹、田尻下敏弘、徳丸剛久、沖 一匡、井川愛子、佐野 文、白子隆志
- 5 「群狼傷を併ったハンドルの外傷の一手術例」
 美濃市立美濃病院 外科
 ○上松 孝、岩田孝太郎、杉本舞子、阪本研一

(15:20～15:55) 座長：木沢記念病院 外科 山本淳史

- 6 「遺伝子変異を特定し得た MEN2B に伴った髄膜癌の1例」
 岐阜赤十字病院 外科
 ○松本光善、高橋 啓、小久保健太郎、橋井航也、林 昌俊
- 7 「USガイド下で切除範囲の設定困難な乳癌に対する新しいナビゲーション法 (熱可塑性プラスチックシェルと仰臥位ダイナミックMRIを用いたMRIシミュレーション)」
 朝日大学付属村上記念病院 乳腺外科¹⁾、放射線診断科²⁾、患部メモリアルクリニック³⁾
 ○細野芳樹¹⁾、川口順敬¹⁾、桐生拓司²⁾、安部まこと³⁾
- 8 「横行結腸神経腫の1例」
 岐阜県立多治見病院 外科
 ○百々昌紀、原田明生、梶川真樹、出口智宙、小西 滋、水野 亮、鶴田哲暢、多代 充、宮嶋則行、山中雅也
- 9 「摂食障害を有する巨大直腸脱患者に対する Altemeier 手術の経験」
 岐阜市民病院 外科
 ○藏満紀成、松井 聡、高野 仁、加納寛悠、安福 至、松井康司、足立尊仁、西科 琢雄、波頭経明、山田 誠、杉山保幸
- 10 「多発肝転移をきたした横行結腸癌に対しコンバージョンセラピーを施行した1例」
 羽島市民病院 外科
 ○辻本浩人、村上大輔、川村祐三、杉本琢哉、仁田豊生、山田卓也

(15:55～16:30) 座長：岐阜県総合医療センター 外科 前田健一

- 11 「腹直筋皮弁で会陰部再建を行った痔瘻癌の1例」
 都上市民病院 外科
 ○中嶋慎治、渡邊 卓、島本 強、片桐義文
- 12 「回腸膀胱癌の一例」
 岐阜北厚生病院 外科
 ○加藤千佳、田中秀典、高橋治海、石原和浩、山本 悟
- 13 「術前化学療法後に切除した巨大胃 GIST の1例」
 木沢記念病院 外科
 ○山本淳史、今井直基、竹内 賢、伊藤由裕、坂下文夫、池庄司浩臣、堀田亮輔、佐治重豊、尾関 豊
- 14 「腹腔鏡の利点を活用した腹腔鏡下肝外側区域切除～術野とエネルギーデバイス～」
 岐阜大学 高度先進外科
 ○木村真樹、関野考史、東 敏弥、島袋勝也、関野誠史郎、名知 祥、村瀬勝俊、竹村博文
- 15 「食道癌に対する Biweekly DCF 療法の Phase II study」
 岐阜大学 腫瘍外科
 ○八幡和恵、田中善宏、久野真史、市川賢吾、棚橋利行、佐々木義之、今井 寿、森光華澄、名和正人、松橋延壽、奥村直樹、野中健一、高橋孝夫、山口和也、長田真二、二村 学、吉田和弘

— 休憩 —

特別講演 (16:40～17:40) 座長 岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍外科学分科 教授 吉田 和弘 先生

『上部消化器癌—ミクロからマクロ、そして治療へ—』 鹿児島大学大学院 消化器・乳腺甲状腺外科学 教授 夏越 祥次 先生

- 口演時間は、5分程度で、質疑応答は、2分程度の予定です。
- 演者の先生は時間厳守をお願い致します。
- プロジェクターは1台用意しております。パソコンでの発表は Windows でお願致します。
- ご発表の媒体は事前に第一三共株式会社の MR にお渡し下さい。

日本医師会生涯教育制度対象講座 2.5 単位認定

当 番 岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科
 共 催 岐阜外科集談会
 第一三共株式会社
 後 援 岐阜大学医学部附属病院がんセンター

【特別講演】

座長 岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍外科学分科
 教授 吉田 和弘 先生



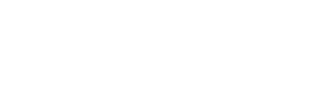
特別講演 『上部消化器癌—ミクロからマクロ、そして治療へ—』

鹿児島大学大学院 消化器・乳腺甲状腺外科学
 教授 夏越 祥次 先生



ご案内

- トップページ
- 教授挨拶
- 教室紹介
- 診療内容
- 外来担当表
- セカンドオピニオン
- 研究課題
- 臨床試験
- 業績
- 研修・入局案内
- 関連病院紹介
- スタッフ紹介
- 教室日記**
- 2022年
- 2021年
- 2020年
- 2019年
- 2018年
- 2017年
- 2016年
- 2015年
- 2014年
- 2013年
- 2012年
- 2011年
- 2010年
- 2009年
- 2008年
- 2007年
- オプトアウト対象の臨床研究
- 寄付講座
- 同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 第6回学生セミナーを開催しました

第6回学生セミナーを開催しました

投稿日：2013年5月10日 (金)

日時：平成25年5月10日
場所：岐阜大学医学部本館3階多目的室 (懇親会 COA)
時間：19時～20時

参加した学生：4年生4名、5年生17名、6年生11名 (合計32名は過去最多でした！)

関連施設からの参加：高山赤十字病院、村上記念病院、岐阜県総合医療センター、岐阜市民病院、岐北厚生病院、揖斐厚生病院、下呂市立金山病院と多くの先生がたにもお集まりいただきました。ありがとうございました。



プログラム

開会の辞 高橋孝夫 先生

19:00 -19:20 講演 「外科研修医の1週間」 岐阜大学腫瘍外科 館 正仁 先生

19:20 -20:20

特別講演 「災害医療と外科医 ～自然災害・紛争地域での外科診療～」

高山赤十字病院 白子隆志 先生



館 正仁 先生
岐阜大学腫瘍外科 (H20卒業)

高山赤十字病院 副院長・救命救急センター長
白子隆志 先生

～プロフィール～ (講演スライドから抜粋)
長野県飯田高校出身 昭和60年卒
硬式テニス部
岐阜大学二外科入局
H2から高山赤十字病院
H16から名古屋第二赤十字病院
外科医 腫瘍外科 外傷外科 災害救急医 麻酔科医?



「災害医療と外科医～自然災害・紛争地域での外科診療～」

高山赤十字病院外科、救命救急センターでのご勤務の傍ら国内の災害医療や海外救護活動に外科医として携わっていらっしゃる白子先生に、ご自身の活動についてご講演いただきました。被災地や海外の紛争地域で経験された貴重な症例を、実際のスライドとともにご紹介いただいた内容は最初は衝撃的でしたが、同時に大変興味深く感じられました。これから医師を目指す学生さんへ、広く世界へ出て活躍すること、辛い外科診療だからこそ患者さんから得られる喜びも大きくなるということを教えていただきました。

本日の内容

1. 災害とは
2. 東日本大震災
3. 海外救護活動
4. 外科医にできること
5. 世界に出てみよう



災害と災害医療

- 災害とは、現有する医療能力に対して、はるかに膨大な医療の需要が極めて短時間のうちに発生した場合
- 災害医療とは、現有する医療能力を最大限に発揮して、**最大多数の被災者に、最良の医療を施すこと**

災害での外科 (外傷) 処置

- ・気道確保
- ・フレイルキェスト、緊張性気胸などの対処
- ・止血 (外出血)
- ・止血 (閉胸・閉腹)
- ・輸液
- ・クラッシュ症候群等への対処

急性期を過ぎれば 国内救援においては避難所処置

ICRCロヒティン救傷外科病院 (世界最大の救傷外科病院 600床)



アフガニスタン医療復興支援事業 2002.6～2004.12

- 1 病院施設の改修 Renovation
- 2 医療器材・医薬品等の供給 Medical supply
- 3 病院職員に対する教育・訓練 Education



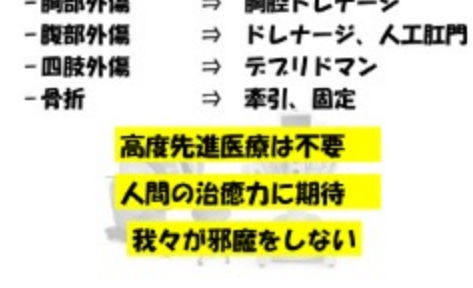
国際赤十字連盟 病院ERU



創外固定



植皮



医療国際救援の現実

- 感染症・脱水 ⇒ 輸液
- 胸部外傷 ⇒ 胸腔ドレナージ
- 腹部外傷 ⇒ ドレナージ、人工肛門
- 四肢外傷 ⇒ テフリドマン
- 骨折 ⇒ 牽引、固定

高度先進医療は不要
人間の治癒力に期待
我々が邪魔をしない

救援は被災者でなく自分のために

- ・日本ではできない体験ができる
- ・実は救援ではなく自分の修練になる
- ・世界の異文化に接することができる
- ・太陽とともに生活し、体調が良くなる
- ・本を読む時間ができ日記も書ける
- ・家族のことを考える良い機会になる

世界に出よう

外科医になろう

自分で診断し自分で治すことができる



辛い時もあるが喜びはもっと大きい

懇親会の様子

関連病院の先生方・当大学スタッフと多くの学生さんが懇親会にて交流を図りました。



岐阜大学腫瘍外科
医局長
高橋孝夫先生より



「このセミナーに参加していただきまして、学生に外科医が描く大きな夢を大いに語り、腫瘍外科 (第二外科) の良い点を力強く語っていただき、研修医の研修には是非腫瘍外科の関連病院でと薦めていただけました関連病院の先生方、そして準備の下働きをしてくれた大学の先生方にこの場をお借りし、御礼申し上げます。参加した学生の内訳は6年生11名、5年生17名、4年生4名の計32名と過去最高の参加人数でした。特に6年生は全員外科系を考えており (多くが岐阜市・岐阜県内での研修希望)、4・5年生も外科に興味ある学生が多くいました。医師参加者も講演会18名、宴会22名と大変盛況でした。楽しみな若者が大勢いました。こちらも若者と話をして、若いエネルギーを得たような気になっています。」

- ◎ [ご案内](#)
- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

教室日記

トップページ > 教室日記 > 腫瘍外科・西8階病棟の歓迎会を行いました

腫瘍外科・西8階病棟の歓迎会を行いました

投稿日：2013年4月15日（月）

日時：平成25年4月15日（月） 19:30～
場所：もつ鍋 おく田



4月から新しく腫瘍外科へお迎えしたスタッフ（前赴任先）

- 森川 あけみ 先生（岐阜市民病院 乳腺外科）
- 市川 賢吾 先生（高知大学医学部附属病院 消化器外科）
- 杉山 太郎 先生（下呂市立金山病院 外科）
- 久野 真史 先生（木沢記念病院）



吉田教授ともつ鍋を囲み新しいスタッフとの親交が深まりました！



留学生のステンさんが4月から大学院へ進学し、引き続き研究を頑張っています！

病棟の新しいスタッフの方々

師長さんをはじめ、新人看護師さん、外科へ移動された看護師さん方をお迎えしました。
外科をよろしくお願ひします！（^^）



司会・幹事の松橋先生、棚橋先生看護師の皆さまお疲れ様でした。

◎ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 第113回日本外科学会定期学術集会へ参加しました

第113回日本外科学会定期学術集会へ参加しました

投稿日：2013年4月11日（木）

学会概要

平成25年4月11日（木）～13日（土）
 福岡国際会議場 / 福岡サンパレス / マリンメッセ福岡
 会頭：前原喜彦 教授 九州大学大学院 消化器・総合外科

演者	発表演題・セッション
吉田和弘	【座長】 Chugai Gastric Cancer Symposium ～胃癌の最新治療の総てが分かる～.
	【司会】 腹腔鏡下幽門側胃切除術における工夫 ーリンパ節郭清と再建ー.
	【司会】 セツキシマブ併用療法～真の力を考える～. がん医療における外科治療の役割.
二村 学	【司会】 乳腺 基礎-1. 乳癌におけるGPNMB蛋白発現と 血清GPNMB測定の臨床的意義.
長田真二	【司会】 肝 手術手技-3. 進行肝腫瘍に対する近未来型低侵襲治療戦略.
山口和也	【司会】 胃 肝転移-1. 完全鏡視下幽門側胃切除術の リンパ節郭清と再建の定型化.
高橋孝夫	進行下部直腸がんにおける側方リンパ節郭清の意義 <リンパ節郭清vs.化学放射線療法>
野中健一	【司会】 大腸 高齢者-6.
奥村直樹	【司会】 胃 化学療法-1. 化学療法が奏効したStageIV胃癌の外科的治療戦略.
松橋延壽	【司会】 大腸 浸潤・転移-4. 当科における腹腔鏡下内肛門括約筋切除術 (LAP-ISR)の検討.
田中善宏	【司会】 食道 基礎-4. DCF/DGSの3剤併用レジメン食道癌術前化学療法.
今井 寿	腹腔鏡下肝切除術患者の 術後栄養状態と消化管機能評価.
佐々木義之	大腸癌肝転移に対する 化学療法施行時の腫瘍縮小方向についての検討.
八幡和憲	新規治療戦略としてVandetanibの 5-FUの相乗効果に関するメカニズムの解明.
加藤順子	大腸癌 Kras 変異に対する Ras をターゲットにした分子標的治療.
山田敦子	Triple Negative 乳癌 (TNBC) に対する Vitamin K3 による分子標的治療.
兼松昌子	乳癌における Glycoprotein Nonmetastatic B (GPNMB) の転移への関与.
福田賢也	EMT 発現機構と化学療法の関連.
田中香織	脾硬度の術前予測.
櫻谷卓司	胃癌手術症例に対する 術前下部消化管内視鏡検査に関する検討.

▲ページの先頭へ戻る

ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記**
 - 2022年
 - 2021年
 - 2020年
 - 2019年
 - 2018年
 - 2017年
 - 2016年
 - 2015年
 - 2014年
 - 2013年
 - 2012年
 - 2011年
 - 2010年
 - 2009年
 - 2008年
 - 2007年
- ▶ オプアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

教室日記

[トップページ](#) > [教室日記](#) > [腫瘍外科・西8階病棟の送別会を行いました](#)

腫瘍外科・西8階病棟の送別会を行いました

投稿日：2013年3月27日（水）

腫瘍外科と西8階病棟スタッフの送別会を行いました

日時：平成25年3月27日（水） 19:30～
 場所：馬喰一代 神田



吉田教授、二村先生よりご挨拶



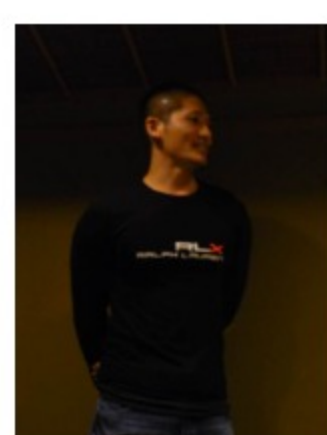
送別された方々



宮部師長さん
東6階病棟へ



加藤先生
ご家族の留学先ポストンへ



櫻谷先生
大学院生として免疫病理学講座へ



皆さま、本当にお疲れ様でした。ご挨拶いただき、ありがとうございました。

スタッフよりひとこと



皆でしゃぶしゃぶを囲んで ～いつ食べるの？「今でしょ!!」～



司会の松橋先生



名司会の松橋先生により、飲み会はとても盛り上がりましたね。



花束の贈呈



皆さま、お疲れ様でした。次の赴任先、移動先でのご活躍をお祈りしています！

After party



二次会では徳丸先生、加納先生が駆けつけてくれました♪

◎ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 免疫病理学教授 竹内 保 先生をお招きしてご講演いただきました

免疫病理学教授 竹内 保 先生をお招きしてご講演いただきました

投稿日：2013年3月11日（月）

研究室カンファレンスに竹内先生をお招きしました

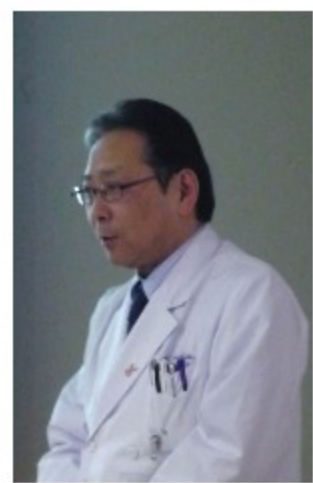
特別講演 腫瘍制御学講座・免疫病理学分野 教授 竹内 保 先生
「クロマチン再構成因子異常のもたらす病理」



日時：平成25年3月11日（月） 19:00 - 20:00
場所：医学部本館3階セミナー室

ご講演を聞いて

- コンパクトに核に収納されているDNA情報を引き出すために、立体構造を解きほぐす機構が存在し、その代表的なものであるクロマチン再構成機構が先生が行っておられる研究のテーマです。このクロマチン再構成の機能が異常を起こすと腫瘍を発生することが、近年の研究で明らかにされたことをご紹介します。
- Human Genome Project以前からクロマチン構造変換因子SWI/SNF複合体の同定をされ、高知大学から世界へその結果を発信された際の苦労話など交えながらお話しされ、とても惹きつけられるご講演でした。
- SWI/SNF複合体に関連したARID1Aの変異が、胃癌・大腸癌の約10%にみられることや、卵巣癌・子宮内膜癌では癌発生にもかかわるお話など大変興味深かったです。



竹内先生、本当にありがとうございました。



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > ポリクリ学生さんの慰労会を開きました

ポリクリ学生さんの慰労会を開きました

投稿日：2013年3月 1日（金）

腫瘍外科のポリクリを修了した医大5年生の学生さんと飲み会を開きました

日時：平成25年3月1日（金）
場所：COA



実習お疲れ様でした！

外科選択をしてくれた学生さんたちは、これからも外科への興味をもってくれること
でしょう。

腫瘍外科はそんな学生さんを広く迎えます。一緒に働こうではないか！

外科手術を極めようではありませんか！

そんな熱い会話が飛び交った夜でした。

（筆者は実は参加していないのであくまでイメージです）



▼ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 新年会を行いました

新年会を行いました

投稿日：2013年1月 7日 (月)

医局の新年会を行いました

日時：2013年1月7日 (月)

場所：医学部本館3階セミナー室



お昼なのでお茶で乾杯！



たくさんのお料理
手羽先の差し入れ
頂きました(^_^)/
佐久間さん
ありがとうございました！



しっかり頂きました☆



仕事を終えて、みんなが集まりました (*^_^*)



美味しかったですね！！



Professorとポリクリの学生さんと



当科の秘書さんたちです。今年もどうぞよろしくお願いいたします！！